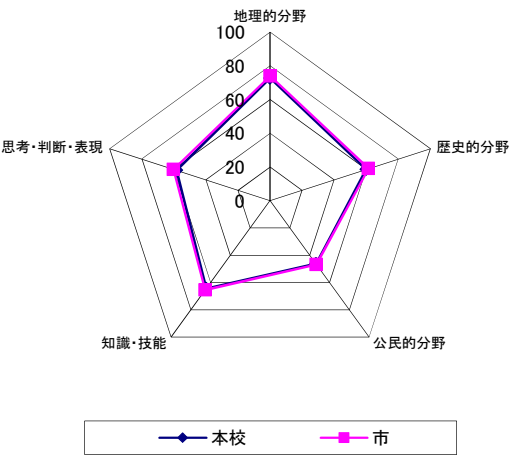


宇都宮市立雀宮中学校 第3学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	地理的分野	72.6	74.0	67.9
	歴史的分野	59.9	61.5	56.1
	公民的分野	46.3	46.9	40.7
観点別	知識・技能	64.5	65.5	60.6
	思考・判断・表現	58.3	60.2	52.7

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
地理的分野	平均正答率は市平均を14.1ポイント下回り、参考値を4.7ポイント上回った。 ○大問1の九州、中国・四国、近畿地方の面積や農業、畜産、漁業、工業に関する特色について考察し表現する問題は市の平均を上回っている。 ●大問2の環境問題について、複数の資料に着目して考察し、表現する問題は市の平均をやや下回っている。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・グラフや図表などの資料から、その資料が何を示しているものかを読み取り、複数の資料を関連付けて説明する力が徐々に上がってきたが、十分とは言えない。授業の中で、各種資料を読み取って自分の言葉で説明する学習活動を積極的に取り入れていく。 ・資料で表されている内容は、学習内容を表したものでもあるので、理解すべき内容を再確認し、定着させていく。
歴史的分野	平均正答率は市平均を1.6ポイント下回り、参考値を3.8ポイント上回った。 ○大問4の弥生時代の人々の暮らしについての問題では、市平均を上回っている。 ●一方で、享保の改革や田沼の政治などの江戸幕府の政治の仕組みに関する問題は市の平均を下回っている。	・江戸時代の政治の仕組みについて理解が不十分である。ミニテストで知識の定着を図り、年表を用いて歴史の流れを意識させた学習活動を取り入れる。 ・地理的分野と同様に、資料を読み取ったり判断・考察したことを表現する活動を苦手としている傾向が強い。授業の中で、各種資料を読み取って自分の言葉で説明したり、話し合ったりする学習活動を積極的に取り入れていく。
公民的分野	平均正答率は市平均を0.6ポイント下回り、参考値を5.6ポイント上回った。 ○日本国憲法の三つの基本原理に関する問題や社会権の種類に関する問題については市平均を上回っている。 ●さまざまな新しい人権が認められるようになった背景について考察し、表現する問題は、市平均を下回った。	・公民的分野の学習内容に関する様々な事例についての知識が浅いと感じる。ニュースなどを積極的に取り入れ、最新の情報を活用して授業を行っていく。